

平成 25 年度

沖縄県立埋蔵文化財センター

年 報



目 次

I 概 要

1. 設置目的	1
2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み	1
3. 施設の概要	2
4. 組織と職員一覧（平成 25 年度）	4
5. 調査業務	
(1) 発掘調査	5
(2) 資料整理	5
6. 資料の貸出・利用	6
7. 普及・活用	
(1) 常設展示及び屋外展示等	6
(2) 団体見学	9

II 平成 25 年度の報告

1. 予算及び決算	10
2. 発掘調査等	
(1) 分布調査、試掘・確認調査	12
(2) 保存・活用目的の調査	13
(3) 記録保存調査	13
(4) 資料整理・報告書作成	14
3. 普及・活用	
(1) 入所者一覧	15
(2) 団体見学一覧	16
(3) 活動実績	17
4. 資料の貸出・利用	20
5. 研修・職員派遣	21

I 概要

1. 設置目的

沖縄県立埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、教育、学術及び文化の発展に資する目的で設置され、次の業務を行っている。

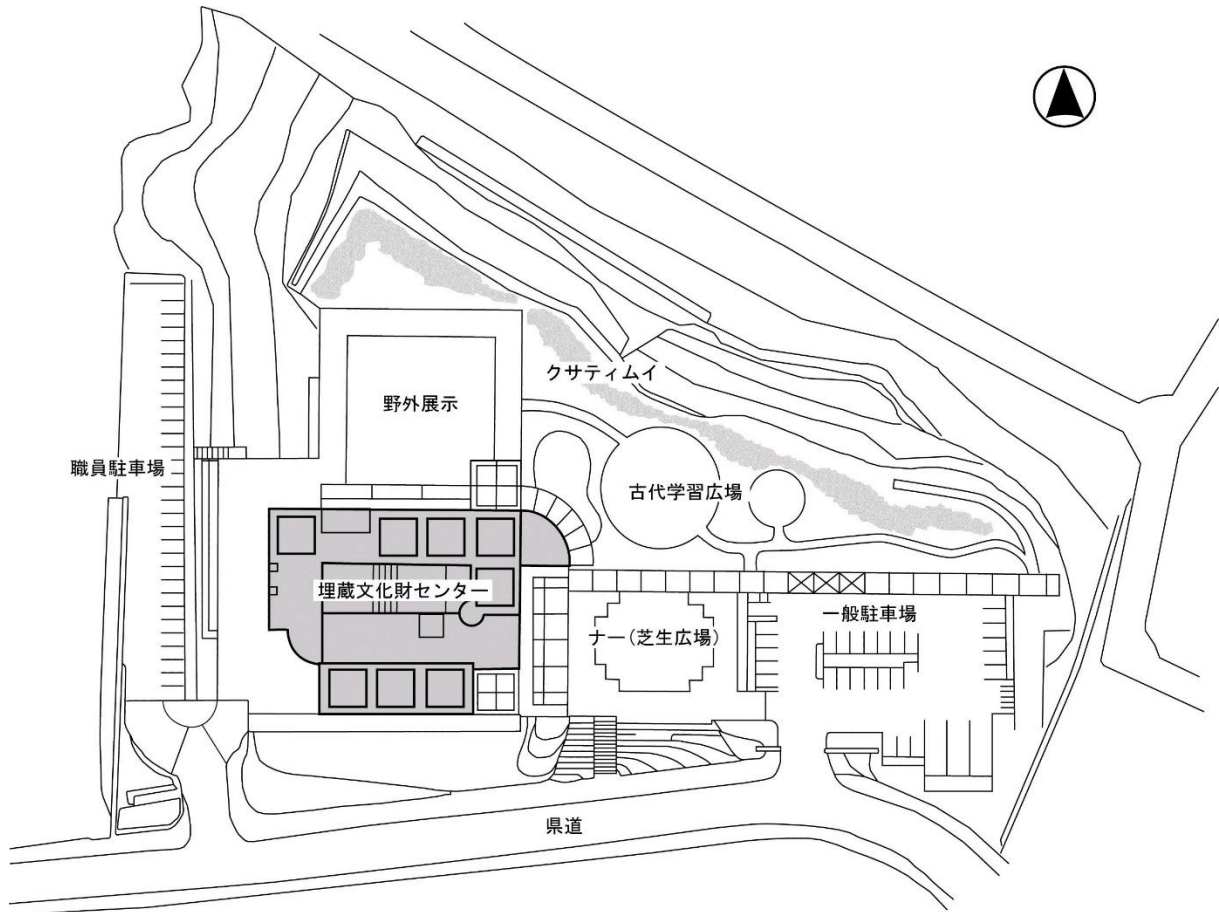
- (1) 埋蔵文化財の調査研究
- (2) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び活用
- (3) 埋蔵文化財に関する知識の普及
- (4) 埋蔵文化財の調査に関する指導及び研修
- (5) 前各号に掲げるもののほか、埋蔵文化財センターの設置目的を達成するために必要な業務

2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み

- | | |
|--------------|---|
| 平成 5 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本構想が承認される。 |
| 平成 6 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本計画が策定される。 |
| 平成 7 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本設計完了 |
| 平成 7 年 11 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター実施設計完了 |
| 平成 10 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事着工 |
| 平成 11 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事竣工 |
| 平成 11 年 12 月 | 平成 11 年第 7 回沖縄県議会で「沖縄県立教育機関設置条例の一部を改正する条例」が可決、沖縄県立埋蔵文化財センターの設置が承認される。 |
| 平成 12 年 3 月 | 定例県教育委員会で「沖縄県立埋蔵文化財センターの管理に関する規則」が承認される。 |
| 平成 12 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター展示、外構、植栽工事完了 |
| 平成 12 年 4 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター開所 |
| 平成 13 年 3 月 | 企画展示室除湿工事完了 |
| 平成 14 年 3 月 | 収蔵庫空調設備工事完了 |

3. 施設の概要

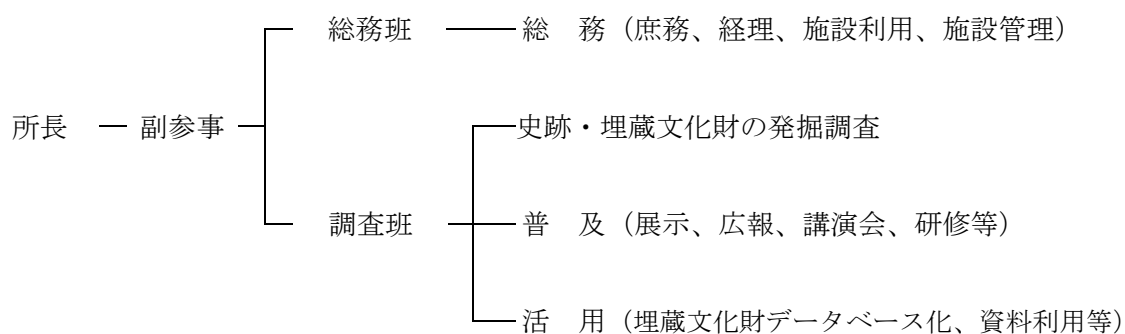
地名・地番	沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7
敷地面積	15,635 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
規模	地上 2 階
建築面積	3,688.29 m ²
延床面積	4,179.88 m ²



埋蔵文化財センター配置図

4. 組織と職員一覧（平成 25 年度）

【 組 織 】



【 職員一覧（平成 25 年 5 月 1 日時点） 】

所 長	下 地 英 輝
副 参 事	島 袋 洋

総 務 班	
職 名	氏 名
総 務 班 長	新 垣 勝 弘
主 査	本 永 恵
主 査	西 島 康 二
主 査	新 里 靖
主査（再任用）	次 呂 久 長 英
主 任	平 良 広 海

調 査 班	
職 名	氏 名
調 査 班 長	金 城 亀 信
指 導 主 事	渡 邊 尚 子
主任専門員	仲 座 久 宜
主任専門員	知 念 隆 博
主任専門員	羽 方 誠
主任専門員	中 山 晋 (※)
主任専門員	瀬 戸 哲 也
主 任	新 垣 力
主 任	大 堀 皓 平
主 任	金 城 貴 子
専 門 員	具 志 堅 清 大
専 門 員	亀 島 慎 吾
専 門 員	宮 城 淳 一
専門員（臨）	山 城 勝

上表(※)印の職員は、東日本大震災の復興支援のため福島県へ派遣。

5. 調査業務

(1) 発掘調査

沖縄県立埋蔵文化財センターにおける発掘調査を予算で区分すると、大きく文化庁国庫補助事業と、受託・分任事業の二つに分けられる。

文化庁国庫補助事業には、埋蔵文化財の分布状況や範囲等を把握し、埋蔵文化財を保護する際の基礎資料を収集するために行われる表面踏査、試掘調査、確認調査のほか、重要遺跡を保存・活用するための発掘調査も含まれる。

一方で、受託・分任事業で行う発掘調査は、開発工事及び公園整備により破壊される部分についてやむを得ず記録保存するために実施され、調査後は現地に遺跡が残らないことが多い。これらの記録保存のための発掘調査に係る費用は開発側に協力してもらっている。なお、開発側が沖縄県以外の場合は受託事業、沖縄県の場合は分任事業となる。

(2) 資料整理

遺跡の発掘調査により得られた出土品は、下表の流れで整理され、遺構図や写真等とともに発掘調査報告書に掲載される。

発掘調査報告書の刊行をもって発掘調査事業の完了となるが、資料整理には複数年を要することがほとんどである。

発掘調査事業完了後も、出土品、写真、図面等の記録類は適切に埋蔵文化財センターで適切に保管され、展示会等による公開のほか、国内外の研究者等による資料調査等に活用される。

表 資料整理の流れ

STEP 1 洗 浄	出土品についた土などをきれいに落とす（基本的に現場で実施）。
STEP 2 注記・分類	出土品の一点一点に遺跡名や出土地点、出土日などの情報を書く（注記）。その後、土器、石器、陶磁器など種類別に分ける作業を行う（分類）。
STEP 3 接合・拔出し	出土品の多くが小破片のため、できるだけもとの形が分かるように破片同士をつなぎあわせる（接合）。その後、調査報告書に掲載する出土品を選ぶ（拔出し）。
STEP 4 実測・復元	出土品をよく観察し、形状や特徴などが分かるように、平面・断面・側面図などを作成する（基本的に実物大）。作成した図面をもとに、出土品をもとの形に復元する。破片が見つからなかった部分は、必要に応じて石膏などで補う。
STEP 5 トレース	報告書に掲載するために、実測した図をきれいなぞる。
STEP 6 写真撮影	報告書に掲載するための写真を撮影する。
STEP 7 図・図版作成	トレースした図や写真をページ毎に配置して番号等を付す。

6. 資料の貸出・利用

当センターで保管・管理している資料（出土遺物・写真類・文献等）は、遺物展示などで各教育機関や博物館等が利用する際に、資料貸出を行っている。また、報道機関等からの利用希望があった際には、写真の提供を行っている。出土遺物に関しては、国内外の研究者等の資料閲覧を受け入れている。

当センター所蔵資料を利用する際には、「沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵」と明記するとともに、図録や論文等に掲載した場合は、掲載資料を2部寄贈することとしている。

貸出及び閲覧等の申請書類の様式は、ホームページに掲載しているが、前述したように他機関へ貸出している場合があるので、事前に資料の利用可否や閲覧日等について連絡調整が必要となっている。

7. 普及・活用

沖縄県立埋蔵文化財センターでは、埋蔵文化財に関する資料の保存（記録）と活用を図るとともに、知識の普及を通じて教育や学術及び文化の発展に寄与することを目的に普及・活用業務を行っている。

具体的には、団体見学の受け入れや体験教室、企画展、文化講座の開催をはじめ、資料の貸出しと図書閲覧室の利用などを通して埋蔵文化財に関する情報の活用を図り、県民をはじめとする多くの人々が、沖縄県の埋蔵文化財の重要性について理解を深められるようにしている。

（1）常設展示及び屋外展示等

①常設展示室（170.84 m²）

常設展示室（図1）では、遺物や遺跡を展示・紹介することで、沖縄県の歴史や文化が理解できるような展示を行っている。常設展示室では、10のテーマに沿ったコーナー展示を設け、中央にはこれまで発掘した遺跡をもとに再現した「2000年前の沖縄のムラ」のジオラマ（模型）と当時の食べ物を復元した「南の島御膳」の展示ケースを設置し、2000年前の埋葬施設を復元した「石棺墓の半截模型」を展示している。

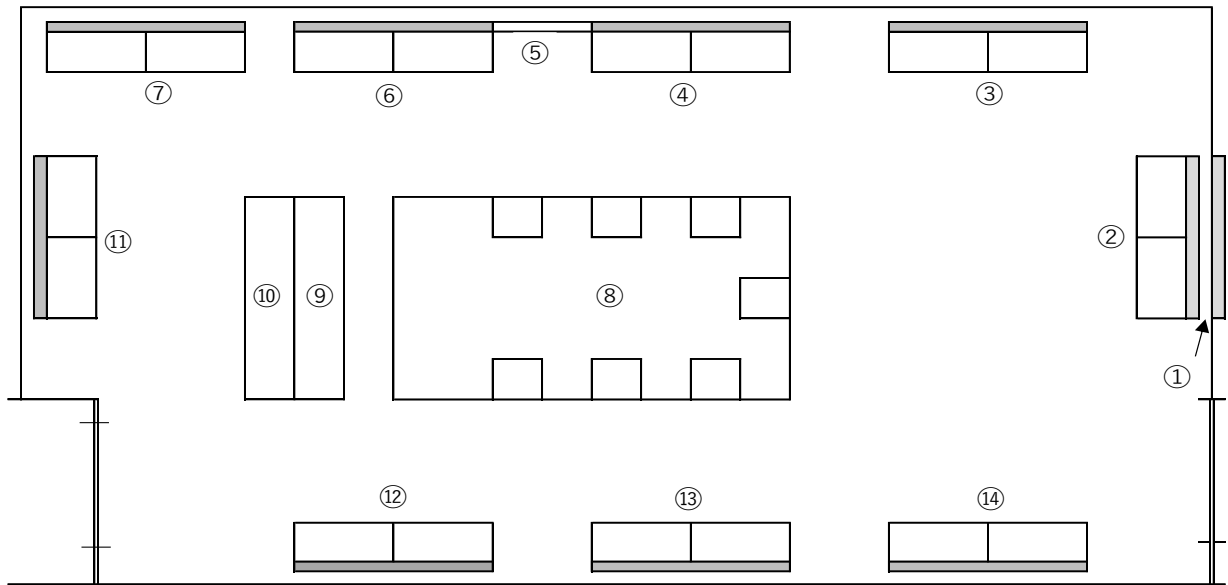


図 1 常設展示室

【展示内容】

- ① 沖縄県主要遺跡分布図
- ② 沖縄新石器時代人はどういう所に住んでいたのか
- ③ 沖縄にはいつごろから人が住みついたのか
- ④ 土器で見る沖縄先史時代の文化圏
- ⑤ 具志川島岩立遺跡西区より剥ぎ取った土層
- ⑥ 住まいと道具ー 1
- ⑦ 貝の道
- ⑧ 再現された「2000年前の沖縄のムラ」(ジオラマ)
- ⑨ 復元した「琉球御膳」
- ⑩ 復元した「石棺墓の半截模型」
- ⑪ グスクの移り変わり
- ⑫ 海外交易を物語る貿易陶磁器
- ⑬ 沖縄の古窯
- ⑭ 先史時代の宮古・八重山諸島

②体験学習室 (64.80 m²)

体験学習室(図2)では、実際に手で触れたり、体験することを通じて、当センターの業務や、先人の知恵や生活について理解を深めてもらう活動を行っている。

体験学習室に入って右側のコーナーでは、埋蔵文化財センターで行っている「発掘調査」や「資料整理」の業務をパネルでわかりやすく説明している。またトレース台や実測機を置いて、「資料整理」の業務を体験できるようにしている。

また、窓際のテーブルでは、「資料整理」の接合作業を体験することができ、当センターで所蔵している遺物の写真を使ったパズルを設置している。

さらに、体験学習室の中央にある円形のテーブルには、沖縄諸島で発掘されている縄文時代の主な土器のレプリカを並べ、実際に手で触れ、持つ等の体験を通じて、縄文時代の人々の生活や肌で感じられるようにしている。

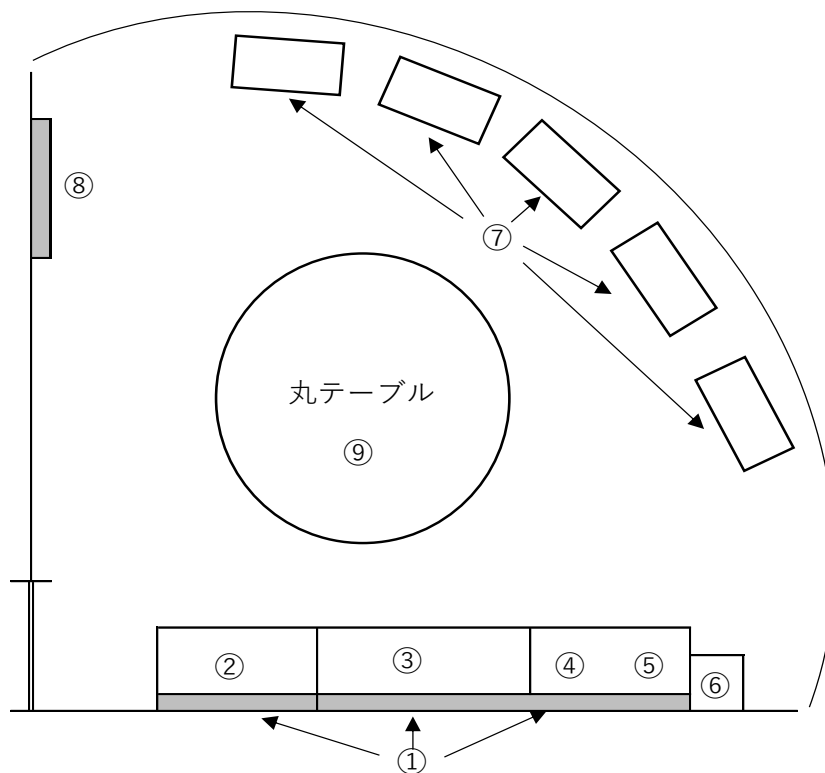


図2 体験学習室

【展示内容】

- | | |
|-------------|--------------------------|
| ① パネル「発掘調査」 | ⑥ 発掘調査で使う道具 |
| ② 実測機 | ⑦ 接合にチャレンジ (パズル) |
| ③ 接合・復元 | ⑧ 重要文化財首里城京の内跡出土品
パズル |
| ④ 型式学 | ⑨ 縄文時代の主な土器 |
| ⑤ 洗い作業 | |

③企画展示室（87.80 m²）

企画展の会場として使用している。企画展示室中のエアタイト（備えつけ展示ケース）は、密閉して空調（温湿度）を管理することができ、重要文化財等の展示にも対応できる。

④古代学習広場

古代学習広場は、親子体験学習や火おこし体験、土器づくり等で活用している。

⑤研修室（170.58 m²）

県民向け文化講座のほか、埋蔵文化財に関する研修や会議を開催している。

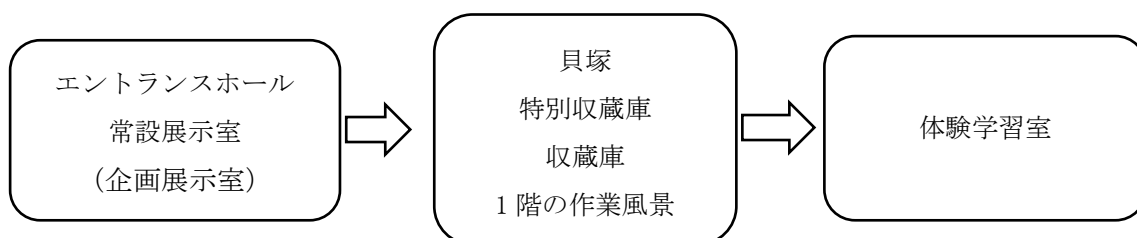
⑥屋外展示（貝塚コーナー）

埋蔵文化財センター入口に向かって左手に、貝塚コーナーを設置している。伊江村にあるナガラ原西貝塚と阿良貝塚から発掘された貝殻を使用して貝塚を再現しており、自由に手にとって貝を見ることができる。

（2）団体見学

当センターでは、学校や自治会など様々な団体の見学を受け入れ、担当職員によるガイド（解説案内）を行っている。団体見学の際は、常時公開されている常設展示室や企画展示室、体験学習室の案内以外にも、収蔵庫や当センターでの資料整理業務の見学なども実施している。

【団体見学のモデルコース】



【団体見学受付の際の注意事項】

- ・団体見学は、10人以上の団体が対象。
- ・団体見학을希望する際には、「団体見学ガイド申込書」を提出する。
- ・団体見学ガイドを申し込む場合は、希望日の1週間前までに電話で確認する。
- ・「団体見学ガイド申込書」は、希望日の5日前までに提出する。FAX受付の場合は原本を当日持参して提出する。

Ⅱ 平成 25 年度の報告

1. 予算及び決算

(1) 埋蔵文化財センター主要事業及び内訳

単位：円

事業区分	事業名	当初予算	補正額等	最終予算	決算額	繰越額	
国庫補助事業	(1) 京の内出土陶磁器保存修理	5,000,000	0	5,000,000	5,000,000	0	
	(2) 基地内文化財分布調査	57,000,000	▲ 1,991,000	55,009,000	48,402,323	0	
	(3) 戦争遺跡群詳細確認	8,000,000	▲ 2,570,000	5,430,000	4,832,171	0	
	(4) 県内遺跡詳細分布調査	7,000,000	140,000	7,140,000	6,631,409	0	
	(5) 白保竿根田原洞穴遺跡確認調査	15,000,000	2,109,410	17,109,410	16,469,978	0	
	(6) 旧円覚寺跡発掘調査		10,269,000	10,269,000	10,269,000	0	
	(7) 県内埋蔵文化財公開活用	6,000,000	0	6,000,000	5,965,820	0	
	国庫補助事業計	98,000,000	7,957,410	105,957,410	97,570,701	0	
受託事業	(受託元) 沖縄総合事務局	(1) 首里城跡発掘調査	60,000,000	▲ 332,000	59,668,000	54,025,740	0
	(受託元) 沖縄防衛局	(2) 海軍病院建設予定地内発掘調査	97,000,000	▲ 19,546,000	77,454,000	70,140,845	0
		受託事業計	157,000,000	▲ 19,878,000	137,122,000	124,166,585	0
分任事業	(分任元) 沖縄県土木建築部	首里城公園発掘調査	45,000,000	▲ 1,097,610	43,902,390	34,565,738	0
		分任事業計	45,000,000	▲ 1,097,610	43,902,390	34,565,738	0
県単事業	学校建設費	(1) 首里高校内埋蔵文化財発掘調査(現年)	240,662,000	0	240,662,000	81,811,051	0
	文化施設事業費	埋蔵文化財センター事業費	16,569,000	0	16,569,000	16,444,864	0
		県単事業計	257,231,000	0	257,231,000	98,255,915	0
総合計		557,231,000	▲ 13,018,200	544,212,800	354,558,939	0	

(2) 財源内訳

単位：円

	合 計	国 庫	特定財源	県 債	一 般
当初予算額	557,231,000	84,651,000	157,000,000	0	315,580,000
補正額等	▲ 13,018,200	5,933,000	▲ 19,878,000	0	926,800
最終予算	544,212,800	90,548,000	137,122,000	0	316,542,800
決算額	354,558,939	82,704,000	124,166,585	0	147,688,354
繰越額	0	0	0	0	0

2. 発掘調査等

(1) 分布調査、試掘・確認調査

No	遺跡名等	所在地	担当者	調査の契機	調査期間	調査面積	時代/種類
1	沖縄県戦争遺跡 確認調査（うるま市伊計島砲台跡ほか4遺跡）	沖縄県うるま市与那城伊計ほか	瀬戸哲也	保存目的の 詳細確認調査	平成25年11月12～15日	—	近代/人工壕・構築物など
2	船越原遺跡	渡嘉敷村字渡嘉敷	瀬戸哲也 宮城淳一	範囲確認調査	平成25年7月9日～9月20日	210 m ²	縄文・弥生時代 並行期/集落
3	喜友名東原第四遺跡（基地内文化財分布調査）	宜野湾市大山（普天間飛行場内）	大堀皓平 宮城淳一	埋蔵文化財の確認調査	平成25年12月10日～平成26年3月24日	258 m ²	縄文・グスク/集落 近世・近代/生産遺跡

(2) 保存・活用目的の調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の契機	調査期間	調査面積	時代/種類
1	首里城跡	那覇市	新垣 力	史跡整備に伴う遺構確認	平成 25 年 7 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 26 日	約 800 m ²	グスク～近 世・近代/城 館跡
2	円覚寺跡	那覇市	金城貴子	史跡整備に伴う遺構確認	平成 25 年 7 月 1 日～ 10 月 1 日	140 m ²	グスク～近 世・近代/社 寺跡
3	中城御殿跡	那覇市	金城貴子	首里城公園整備に伴う測量	平成 26 年 2 月 3 日～ 3 月 31 日	98 m ²	近世・近代/ 城館跡
4	白保竿根田原 洞穴遺跡	石垣市	仲座久宜	重要遺跡確認	平成 25 年 10 月 7 日 ～12 月 20 日	約 20 m ²	旧石器～中 森期/洞穴遺 跡

(3) 記録保存調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の契機	調査期間	調査面積	時代/種類
1	普天間古集落 遺跡	宜野湾市	知念隆博 具志堅清大	病院建設	平成 25 年 9 月 12 日 ～平成 26 年 2 月 7 日	約 4,000 m ²	縄文～近世 ・近代/集落 跡
2	中城御殿跡 (首里高校 内)	那覇市	亀島慎吾 羽方 誠	首里高校校舎改 築	平成 25 年 7 月 29 日 ～平成 26 年 3 月 28 日	約 5,230 m ²	グスク～近 世・近代/城 館跡

(4) 資料整理・報告書作成

No.	遺跡名・報告書名等	所在地	担当者	分析指導・協力等	経費負担	調査年度	刊行年月
1	基地内文化財6	宜野湾市	大堀皓平 宮城淳一	—	文化庁 沖縄県	平成18～20 年度	平成26年3 月
2	県内遺跡詳細分布調査	渡嘉敷村ほか	宮城淳一 瀬戸哲也 大堀皓平	—	文化庁 沖縄県	平成22年度 ～	未定
3	戦争遺跡詳細確認調査	石垣市ほか	瀬戸哲也	池田榮史（琉球大学）、出原恵三（公益財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター）、伊藤厚史（名古屋市見晴台考古資料館）、伊波直樹（株式会社島田組）、上地克也（南風原町立南風原文化センター）、江浦洋（公益財団法人大阪府文化財センター）、菊池実（公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団）、當眞嗣一（沖縄考古学会）、張本文昭（沖縄キリスト教短期大学）、村上有慶（沖縄県職業能力開発大学校）、吉浜忍（沖縄国際大学）	文化庁 沖縄県	平成22年度 ～	平成27年3 月 (予定)
4	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	仲座久宜	片桐千亜紀・藤田祐樹・山崎真治（沖縄県立博物館・美術館）、篠田謙一（国立科学博物館）、米田穰（東京大学）、関野吉晴（武蔵野美術大学）、土肥直美（琉球大学）、奈良貴史（新潟医療福祉大学）、松浦秀治（お茶の水女子大学）	文化庁 沖縄県	平成24年度 ～	未定
5	円覚寺跡（2）	那覇市	金城貴子 山城 勝	本田貴之・宮越哲雄（明治大学）	文化庁 沖縄県	平成18～24 年度	平成26年3 月
6	首里高校内中城御殿跡	那覇市	羽方 誠 亀島慎吾	—	沖縄県教育 庁施設課	平成25年度 ～	未定
7	首里城跡（淑順門東地区）	那覇市	瀬戸哲也 大堀皓平 宮城淳一	大橋康二（佐賀県立九州陶磁文化館）	内閣府沖縄 総合事務局	平成23年度	平成26年3 月
8	普天間古集落跡	宜野湾市	知念隆博 新垣 力 金城貴子 具志堅清大	—	防衛省沖縄 防衛局	平成20～25 年度	平成27年3 月 (予定)

※分析指導・協力等は平成25年度の実績（50音順、敬称略）

3. 普及・活用

平成 25 年度は合計 7,139 人の方々に当センターをご利用いただいた。

企画展や文化講座、夏休み体験学習といったイベントの開催、団体見学や職場体験の受け入れを通じて、県民をはじめとする多くの人々が、沖縄県の埋蔵文化財の重要性について理解を深められる機会を提供した。

企画展に関しては、8月に「発掘調査速報 2013」展、11月に「首里城京の内跡出土品展一文様に込められた思い」展を開催した。

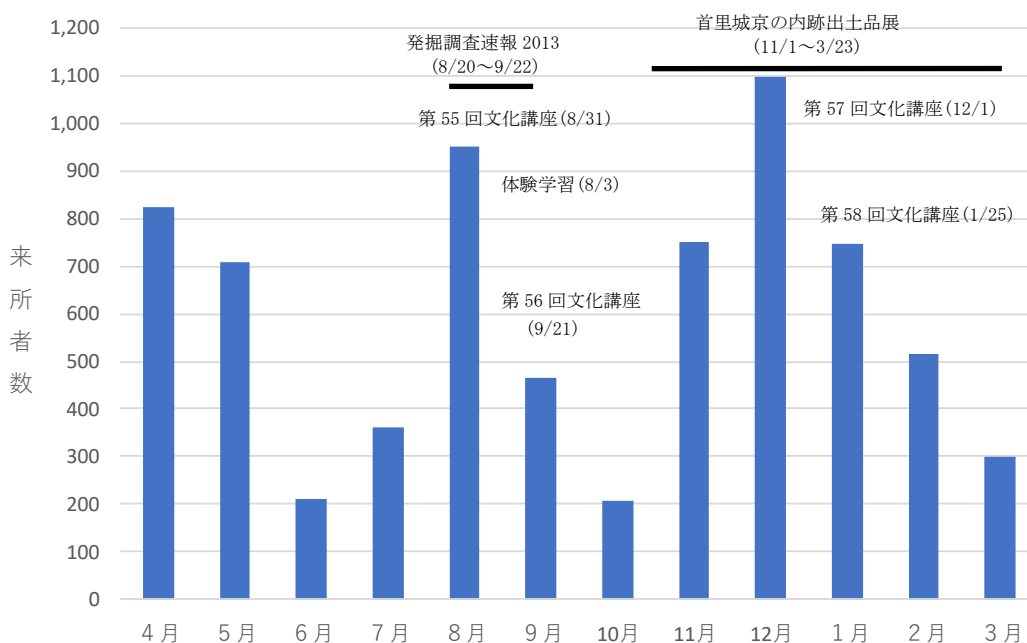
文化講座は、企画展に関連した 2 講座及び白保竿根田原洞穴遺跡に関連した 2 講座を実施した。8 月には夏休み体験学習「先史人の技～貝のアクセサリ作り～」を実施し、多くの保護者・児童が参加した。団体見学は 33 団体、1,640 人を受け入れ、職場体験は 16 校 41 人の生徒を受け入れた。

(1) 来所者一覧

単位：人

月	一般見学						施設利用 ※	来所者数
	小学生	中学生	高校生	大学生	一般	合計		
4月	414	2	1	38	301	756	67	823
5月	463	1	3	27	133	627	80	707
6月	16	0	5	11	150	182	30	212
7月	116	12	19	48	89	284	78	362
8月	329	18	18	11	196	572	378	950
9月	7	6	1	7	203	224	241	465
10月	9	1	0	15	100	125	81	206
11月	12	0	2	41	289	344	409	753
12月	8	6	1	8	186	209	888	1,097
1月	18	0	0	8	113	139	609	748
2月	4	0	6	9	138	157	358	515
3月	20	3	2	7	224	256	45	301
合計	1,416	49	58	230	2,122	3,875	3,264	7,139

※文化講座、資料閲覧、研修室使用等で来所した人数



(2) 団体見学一覧

No	見学月日	曜日	団体名	見学者数 (人)
1	4月12日	金	西原小学校	115
2	4月16日	火	西原東小学校	75
3	4月17日	水	赤道小学校	105
4	4月19日	金	与儀小学校	70
5	4月23日	火	西原敬愛園	12
6	4月24日	水	西原敬愛園	12
7	4月25日	木	西原敬愛園	12
8	4月25日	木	琉球大学留学生センター	28
9	4月26日	金	西原敬愛園	12
10	4月26日	金	沖縄県教育庁教育支援課	37
11	4月27日	土	西原敬愛園	12
12	4月30日	火	西原敬愛園	12
13	4月30日	火	垣花小学校	30
14	5月1日	水	長田小学校	110
15	5月2日	木	北谷第二小学校	104
16	5月14日	火	普天間第二小学校	130
17	5月21日	火	北中城小学校	64
18	5月22日	水	北中城小学校	64
19	5月30日	木	琉球大学留学生センター	18
20	6月4日	火	阿波連小学校	12
21	7月10日	水	沖縄国際大学 総合文化学部	45
22	7月17日	水	宜野座高校	15
23	7月24日	水	宜野湾市教育員会 はごろも学習センター	17
24	7月26日	金	学童みらいクラブ	21
25	7月30日	火	坂田小学校	20
26	7月31日	水	はにんすキッズ学童クラブ	35
27	8月1日	木	海星学童センター	43
28	8月1日	木	坂田小学校	20
29	8月6日	火	ハイサイめんそーれ学童	46
30	8月6日	火	坂田小学校	20
31	8月8日	木	てだこチャイルド・ディベロップメントセンター	13
32	8月8日	木	坂田小学校	20

No	見学月日	曜日	団体名	見学者数 (人)
33	8月9日	金	開邦高校	5
34	8月13日	火	坂田小学校	20
35	8月15日	木	開邦高校	5
36	8月15日	木	坂田小学校	20
37	8月20日	火	坂田小学校	20
38	8月22日	木	坂田小学校	20
39	8月23日	金	サウンド学童	12
40	9月17日	火	宜野湾市適応指導教室 若葉教室	8
41	10月1日	火	沖縄市照屋自治会	33
42	11月7日	木	浦添市教育研究所	7
43	11月28日	木	琉球大学法学部 人間科学科	35
44	12月6日	金	一般団体見学	5
45	12月11日	水	首里公民館	43
46	12月18日	水	県立芸術大学	8
47	3月20日	木	にいさん会 (浦添市てだこ学園大学院OB)	15
48	3月27日	木	沖縄市安慶田老人会	35
合 計				1,640

(3) 活動実績

①企画展

No.	名 称	期 間	観覧者数 (人)
1	発掘調査速報2013	平成25年8月20日(火)～9月22日(日)	926
2	首里城 京の内跡出土品展「文様に込められた思い」	平成25年11月1日(金)～3月23日(日)	3,328
合 計			4,254

②文化講座

回	名 称	開催日	講 師	参加者数 (人)
第55回	発掘調査速報2013 その1	平成25年8月31日	金城貴子、新垣 力、 羽方 誠、大堀皓平	101
第56回	発掘調査速報2013 その2	平成25年9月21日	具志堅清大、瀬戸哲 也、仲座久宜	42
第57回	白保竿根田原洞穴遺跡について(in石垣)	平成25年12月1日	藤田祐樹、仲座久宜、 米田 穰、土肥直美、 篠田謙一、関野吉晴	100
第58回	白保竿根田原洞穴遺跡について	平成26年1月25日	藤田祐樹、仲座久宜、 米田 穰、土肥直美、 篠田謙一、関野吉晴	134
合 計				377

③体験学習

名 称	開催日	参加者数 (人)
夏休み体験学習「先史人の技～貝のアクセサリー作り～」	平成25年8月3日	94

④職場体験

No.	学校名	期間	参加者数 (人)
1	西原東中学校	平成25年7月1日～4日	3
2	西原中学校	平成25年7月2日～4日	3
3	首里高校	平成25年7月2日～4日	3
4	西原高校	平成25年7月9日～11日	3
5	陽明高校	平成25年7月9日～11日	3
6	那覇工業高校	平成25年9月18日～20日	1
7	開邦高校	平成25年9月25日～27日	3
8	真和志高校	平成25年10月2日～4日	3
9	浦添高校	平成25年10月9日～11日	3
10	中部商業高校	平成25年10月23日～25日	2
11	北中城高校	平成25年11月12日～14日	3
12	首里東高校	平成25年11月12日～14日	2
13	知念高校	平成25年11月12日～14日	1
14	浦添高校	平成25年11月13日～15日	2
15	浦西中学校	平成25年12月11日～13日	3
16	首里中学校	平成26年1月29日～31日	3
合 計			41

⑤現地説明会

No	名 称	開催日	参加者数 (人)
1	船越原遺跡（渡嘉敷村）	平成25年9月14日（土）	80
2	白保竿根田原洞穴遺跡（石垣市）	平成25年11月30日（土）	80
3	中城御殿跡（首里高校内）	平成25年12月21日（土）	80
4	中城御殿跡（首里高校内） ※首里高校関係者対象	平成26年2月15日（土）	60
合 計			300



「発掘調査速報 2013」



重要文化財首里城京の内跡出土品展



第 56 回文化講座



船越原遺跡現地説明会



白保竿根田原洞穴遺跡現地説明会



中城御殿跡（首里高校内）現地説明会



職場体験



団体見学

4. 資料の貸出・利用

(1) 貸出件数

機関 期間	沖縄県立 博物館・美術館	県内博物館・ 教育委員会	県外博物館	国立博物館	海外博物館	その他 研究機関等	計
通年	1(1)	4	0	1	0	1	7(1)
短期	0	5	1	1	1	5	13
合計	1(1)	9	1	2	1	6	20(1)

※ () の数は重要文化財の貸出件数

(2) 利用件数

機関 目的	県内博物館・ 教育委員会	県外博物館・ 教育委員会	国内の大学・ 研究者等	海外の研究者等	報道機関	その他 出版社等	小計
遺物閲覧	4	3	17	1	4	1	30
図・写真 の利用(掲載等)	7	2	12	0	4	6	31
合計	11	5	29	1	8	7	61

5. 研修・職員派遣

(1) 研修

No.	名称	期間	参加者
1	平成 25 年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第 26 回研修会	平成 25 年 10 月 31・11 月 1 日	大堀皓平 具志堅清大
2	平成 25 年度文化財担当者専門研修「三次元計測課程」	平成 25 年 9 月 30 日～10 月 4 日	亀島慎吾

(2) 職員派遣

No.	依頼内容	派遣先	期間	派遣職員
1	東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財調査のための職員派遣	福島県教育委員会	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日	中山 晋
2	第 1 回円覚寺跡復元整備委員会	沖縄県教育委員会	平成 25 年 8 月 26 日	島袋 洋 金城貴子



徽章 スイジガイ

沖縄の先史時代には貝を利用した用具や装飾品が多く、貝器文化が大きな特徴となっています。そのなかでスイジガイ（水字貝）製品は広く県内の遺跡から出土する代表的な貝器です。また、近年まで魔除けとして家畜小屋や家の前に吊す風習も広く分布していました。

平成 25 年度

沖縄県立埋蔵文化財センター 年報

編集・発行 沖縄県立埋蔵文化財センター

〒903-0125

沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7

TEL (098) 835-8751

FAX (098) 835-8754
